

8. 預貯金のみ保有層の証券投資に関する意識

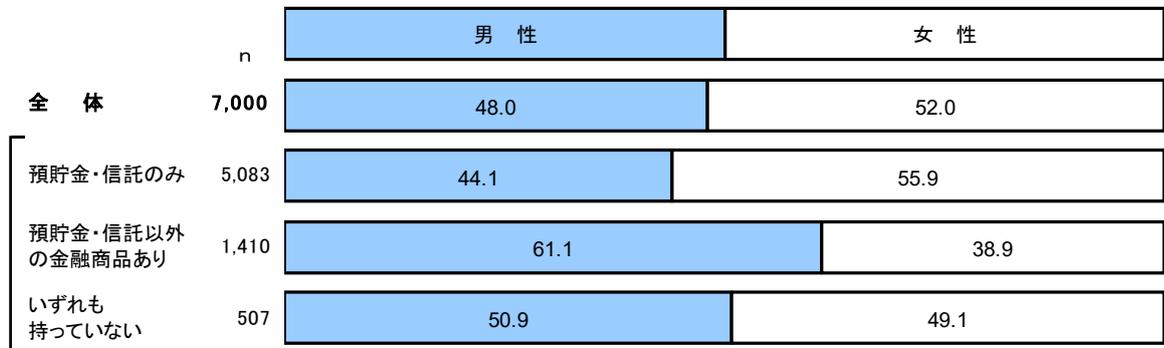
- (1) 性別 (F 1)
- (2) 配偶者の有無 (F 3)
- (3) 職業 (F 4)
- (4) 主な収入源 (F 5)
- (5) 税込み年収 (F 6)
- (6) 購読新聞 (F 7)
- (7) 住居 (F 9)
- (8) 金融商品に対する重視点 (問 6)
- (9) 株式購入理由 (問 40)
- (10) 投資信託購入理由 (問 48)
- (11) 公社債購入理由 (問 54)
- (12) 【株式保有未経験者】株式非購入の理由 (問 43)
- (13) 【投資信託保有未経験者】投資信託非購入の理由 (問 50)
- (14) 【公社債保有未経験者】公社債非購入の理由 (問 56)
- (15) 証券投資知識の習得内容 (問 11)
- (16) 証券投資知識の習得方法 (問 12)
- (17) 証券投資全般のイメージ (問 17)
- (18) 証券会社のイメージ (問 31)
- (19) 「証券取引等監視委員会」の認知度 (問 21-A)
- (20) 「日本投資者保護基金」の認知度 (問 21-B)
- (21) 「日本証券業協会」の認知度 (問 21-C)
- (22) 「東京証券取引所」の認知度 (問 21-D)
- (23) 「証券・金融商品あっせん相談センター (FINMAC)」の認知度 (問 21-E)
- (24) N I S A 認知 (問 23)

注) 前回調査からの継続性を踏まえ、「預貯金のみ保有層」の「預貯金」には「信託」を含みます。

(1) 性別 (F 1)

● 預貯金・信託のみを保有している層（以下、「預貯金のみ層」という。）は、女性が過半数（55.9%）を占め、預貯金・信託以外の金融商品を保有している層（以下、証券保有層という）は、男性が6割強（61.1%）を占める。

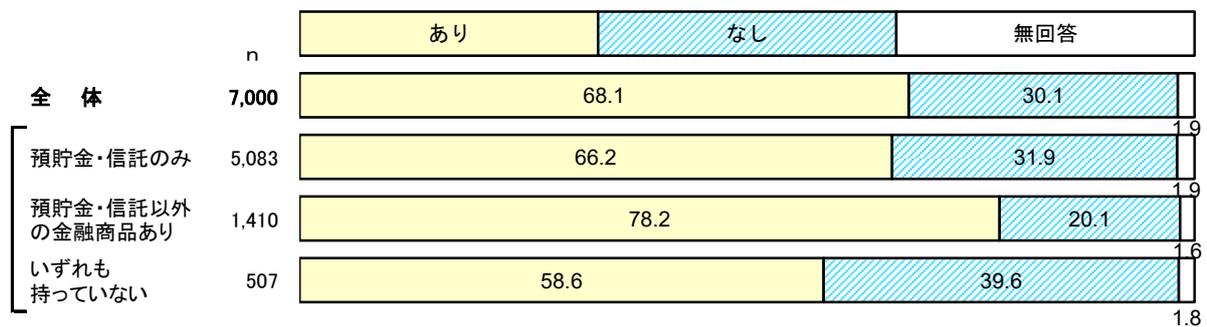
図表 8-1 性別 (F 1)



(2) 配偶者の有無 (F 3)

● 証券保有層は、預貯金のみ層に比べ「配偶者あり」の割合が高い。

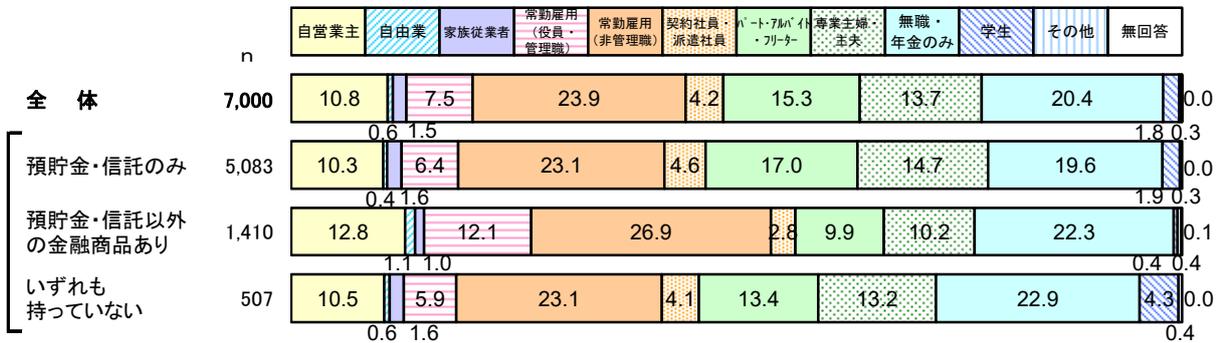
図表 8-2 配偶者の有無 (F 3)



(3) 職業 (F 4)

● 職業は、預貯金のみ層は、証券保有層に比べ「パート・アルバイト・フリーター」「専業主婦・主夫」が高く、「常勤雇用 (役員・管理職)」が低い。

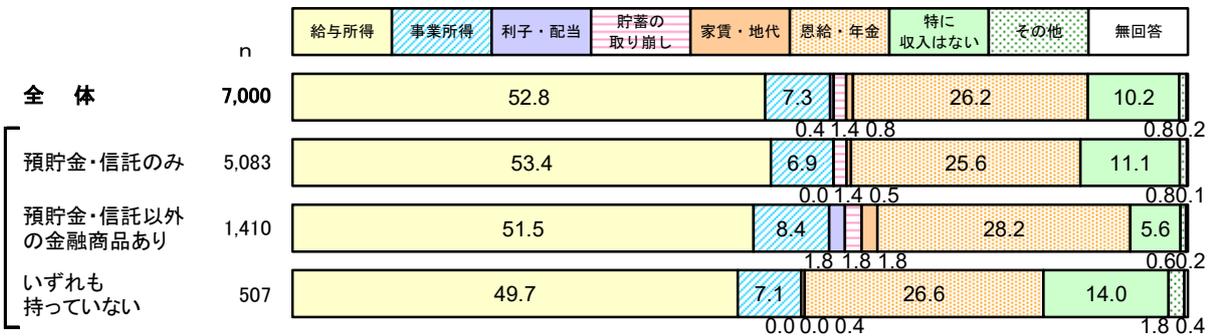
図表 8-3 職業 (F 4)



(4) 主な収入源 (F 5)

● 主な収入源は、預貯金のみ層は、証券保有層に比べ「特に収入はない」が高い。

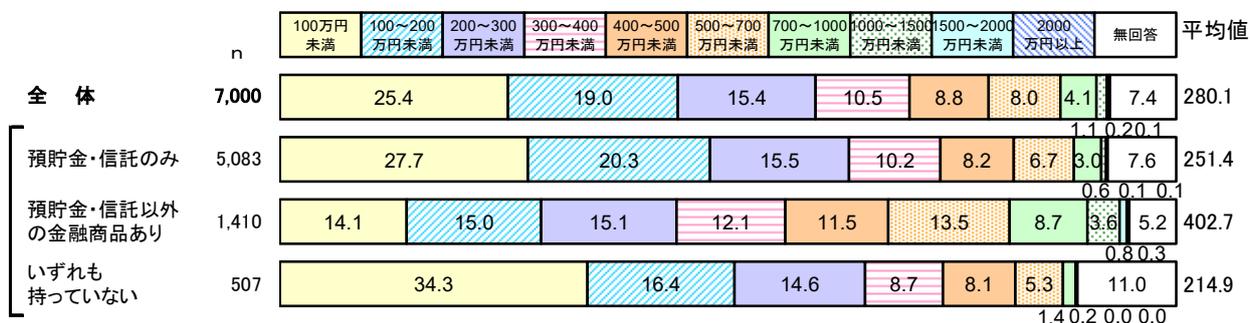
図表 8-4 主な収入源 (F 5)



(5) 税込み年収 (F6)

● 税込み年収は、預貯金のみ層は、証券保有層に比べ「200万円未満」が高い。平均値は、預貯金のみ層の251.4万円に対して、証券保有層は402.7万円である。

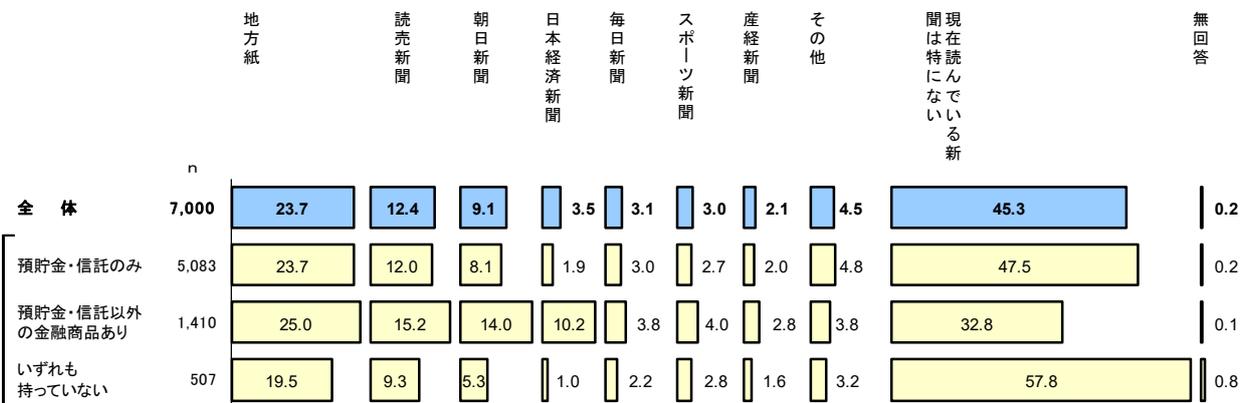
図表 8-5 税込み年収 (F6)



(6) 購読新聞 (F7)

● 購読新聞は、預貯金のみ層は、証券保有層に比べ「現在読んでいない新聞は特にない」が高い。証券保有層は、「朝日新聞」、「日本経済新聞」が高い。

図表 8-6 購読新聞 (複数回答) (F7)



(7) 住居 (F9)

● 住居は、預貯金のみ層は、証券保有層に比べ「戸建の持ち家」比率が低く、「賃貸住宅（公社、民間など）」が高い。

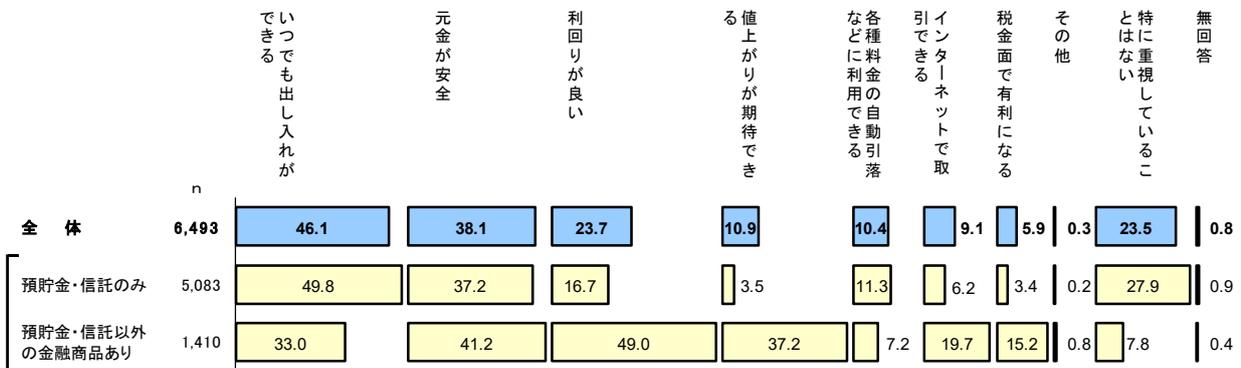
図表 8-7 住居 (F9)



(8) 金融商品に対する重視点 (問6)

● 金融商品に対する重視点については、預貯金のみ層は、証券保有層に比べ「いつでも出し入れができること」、「特に重視していること」の割合が高く、「利回りが良いこと」、「値上がりが期待できること」、「インターネットで取引できること」、「税金面で有利になること」の割合は低い。

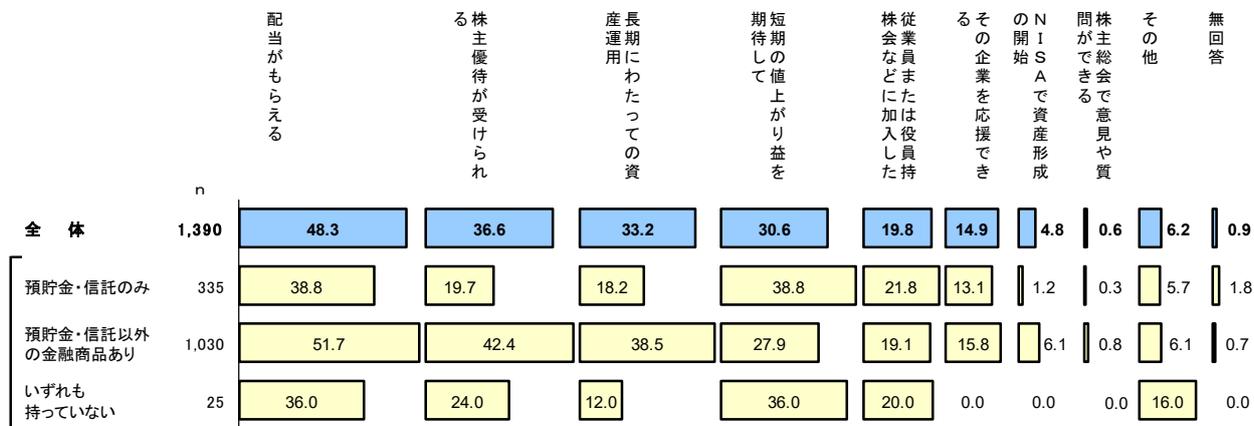
図表 8-8 金融商品に対する重視点 (複数回答) (問6)



(9) 株式購入理由 (問 40)

● 株式の以前保有者の株式購入理由については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層では、「短期の値上がり益を期待して」が高い一方で、「配当がもらえるから」、「株主優待が受けられるから」、「長期にわたっての資産運用として」は低い。

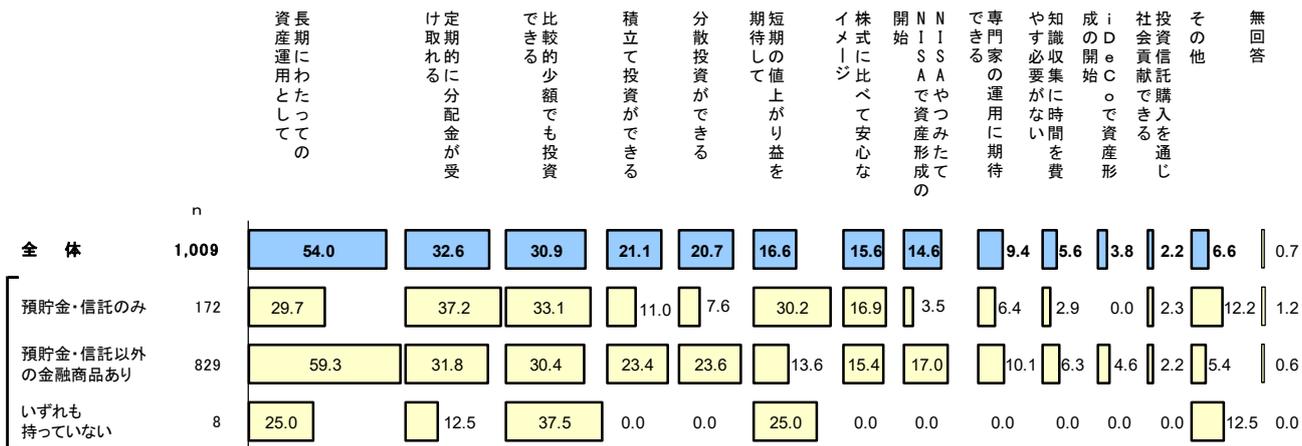
図表 8-9 株式購入理由 (複数回答) (問 40)



(10) 投資信託購入理由 (問 48)

● 投資信託の以前保有者の投資信託購入理由については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層では、「短期の値上がり益を期待して」が高い一方で、「長期にわたっての資産運用として」、「積立で投資ができるから」、「分散投資ができるから」、「NISA (少額投資非課税制度) やつみたてNISA で資産形成を始めようと思ったから」は低い。

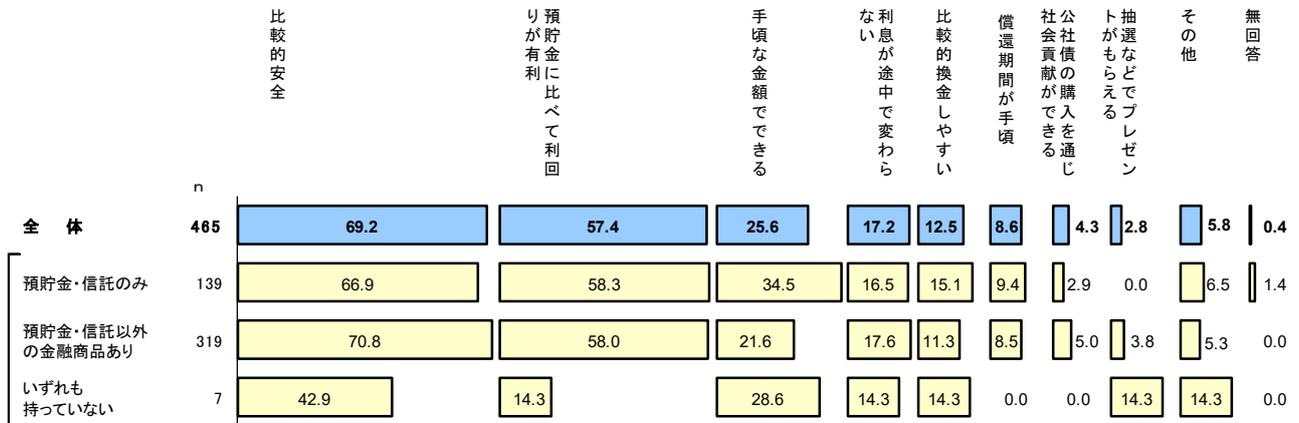
図表 8-10 投資信託購入理由 (複数回答) (問 48)



(11) 公社債購入理由（問 54）

● 公社債の以前所有者の公社債購入理由については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層では「手頃な金額でできるから」が高い。

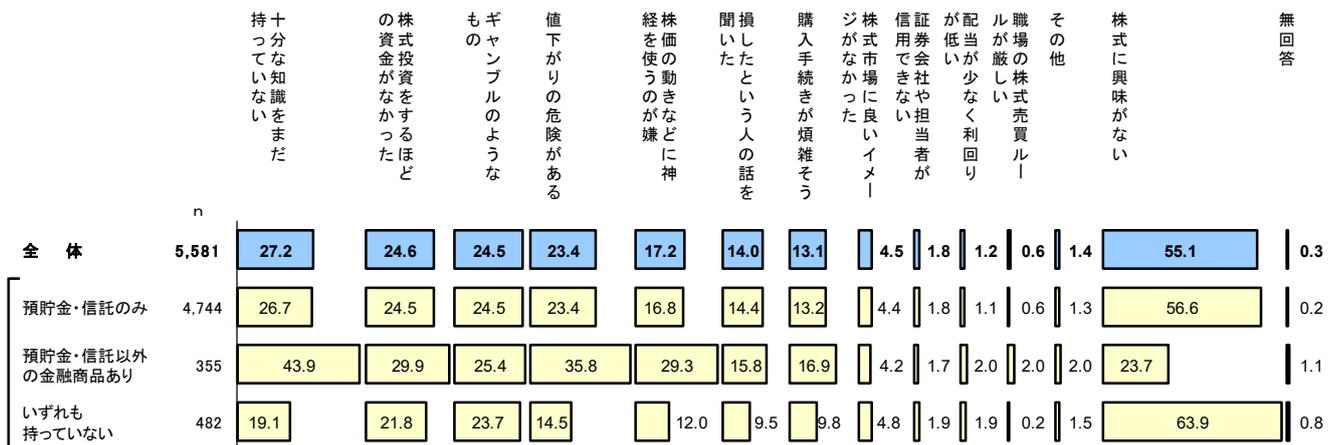
図表 8-11 公社債購入理由（複数回答）（問 54）



(12) 【株式保有未経験者】株式非購入の理由（問 43）

● 株式保有未経験者の株式非購入の理由については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層では、「株式に興味がないから」が高く、「十分な知識をまだ持っていないと思った（どの銘柄を買ったらよいかわからなかった）から」、「値下がり危険がある（元本の保証がない）から」、「株価の動きなどに神経を使うのが嫌だったから」は低い。

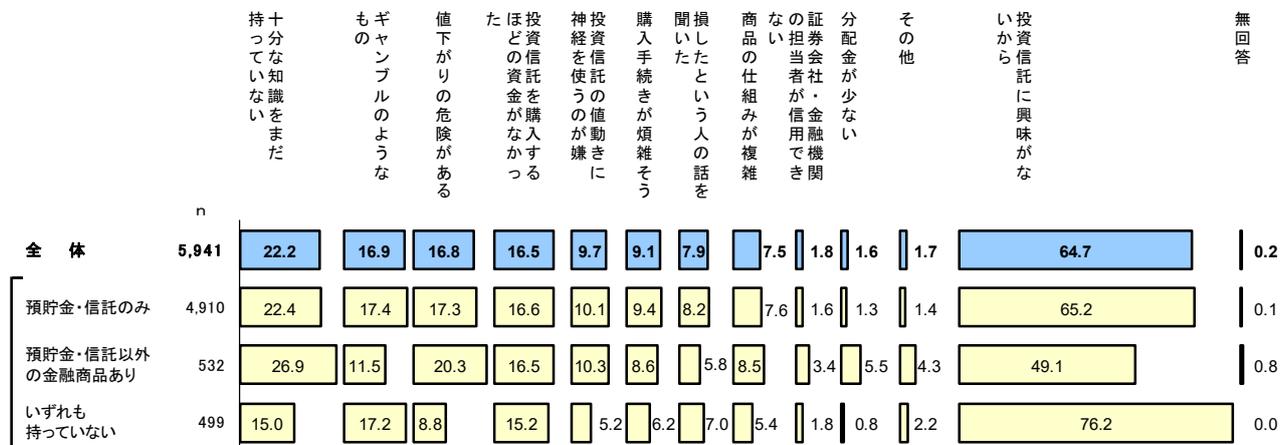
図表 8-12 【株式保有未経験者】株式非購入の理由（複数回答）（問 43）



(13) 【投資信託保有未経験者】投資信託非購入の理由（問 50）

● 投資信託保有未経験者の投資信託非購入の理由については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層で「ギャンブルのようなものだったから」、「投資信託に興味がないから」が高い。

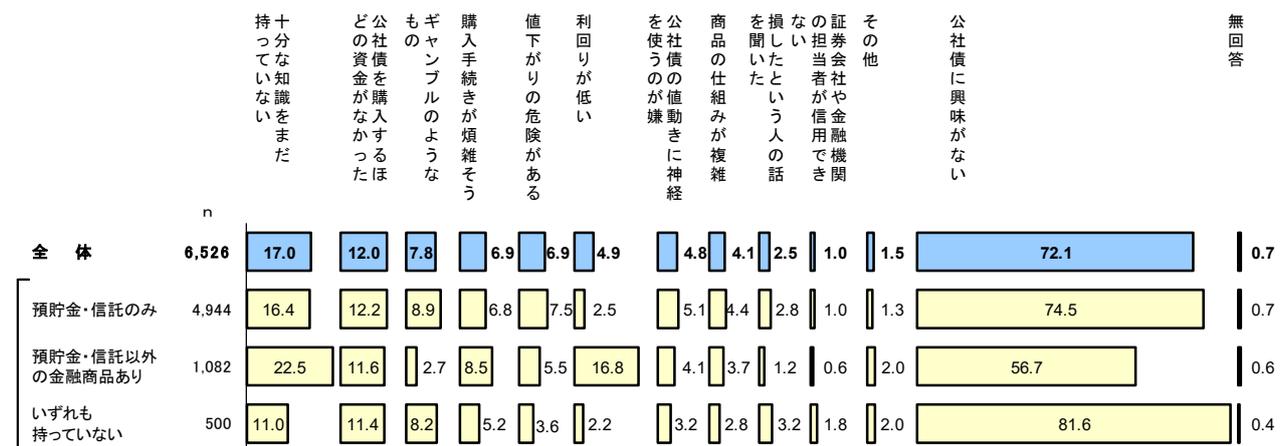
図表 8-13 【投資信託保有未経験者】投資信託非購入の理由（複数回答）（問 50）



(14) 【公社債保有未経験者】公社債非購入の理由（問 56）

● 公社債保有未経験者の公社債非購入の理由については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層で「ギャンブルのようなものだったから」、「公社債に興味がないから」が高く、「十分な知識をまだ持っていないと思った（どの銘柄を買ったらよいかわからなかった）から」、「利回りが低いから」は低い。

図表 8-14 【公社債保有未経験者】公社債非購入の理由（複数回答）（問 56）



(15) 証券投資知識の習得内容 (問 11)

● 証券投資知識の習得内容については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層は「投資対象となる商品の種類・仕組み・リスクやリターン」、「実際に投資をしている人のノウハウややり方・投資額」、「証券税制の仕組み (NISA・つみたてNISAを含む)」、「口座開設や金融商品の売買方法に関する具体的な方法」、「投資を始めるにはどの程度の資金が必要か」、「わからない」が高く、「経済に関する全般的な知識」が低い。

図表 8-15 証券投資知識の習得内容 (複数回答) (問 11)

	n	商品・自分に適したスタイル投資の種類	投資対象商品の種類や仕組みやリスク	投資のリスクを減らす方法	投資者のノウハウややり方や投資額	NISA (NISA・つみたてNISAを含む)	口座開設や金融商品の売買方法	経済に関する全般的な知識	投資をしている人達の成功談・失敗談	投資を始めるのに必要な資金額	知識は必要ない	わからない	無回答
全体	2,164	46.1	45.6	34.6	28.9	28.0	26.3	23.8	17.5	15.9	5.8	9.0	0.6
預貯金・信託のみ	1,076	47.4	48.9	34.9	31.7	31.4	35.4	21.7	18.5	24.3	4.3	12.7	0.2
預貯金・信託以外の金融商品あり	1,004	45.8	42.7	35.2	26.2	23.9	16.3	26.9	16.0	6.1	7.6	4.3	1.1
いずれも持っていない	84	33.3	38.1	23.8	26.2	33.3	28.6	15.5	21.4	25.0	3.6	16.7	0.0

(16) 証券投資知識の習得方法 (問 12)

● 証券投資知識の習得方法については、証券保有層に比べて、預貯金のみ層では、「周囲の投資経験者からの意見やアドバイス」、「わからない」が高く、「パソコンやタブレットを利用したインターネットからの情報」、「証券会社や金融機関などの担当者からの説明」、「金融専門誌や書籍からの情報」、「新聞やテレビ、ラジオからの情報」は低い。

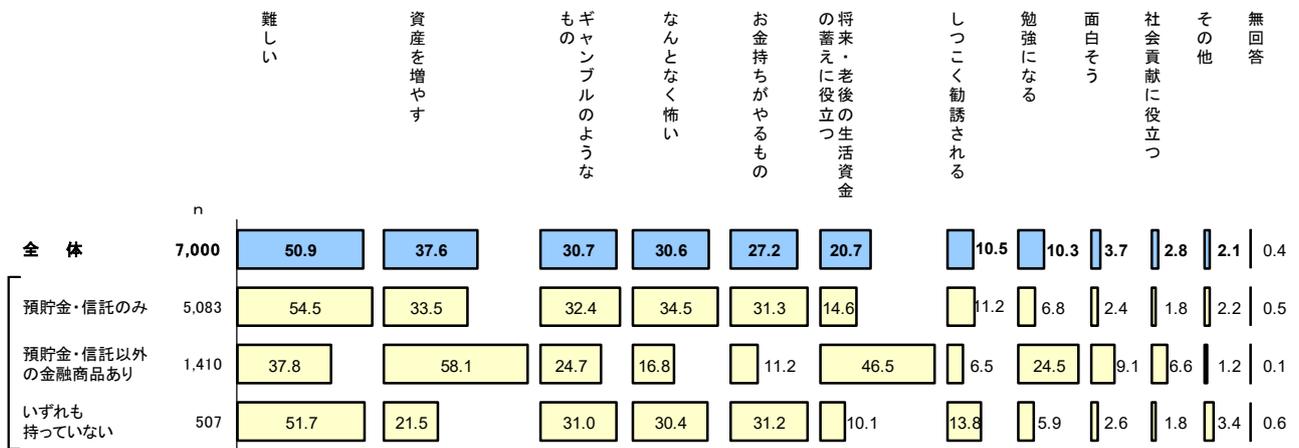
図表 8-16 証券投資知識の習得方法 (複数回答) (問 12)

	n	PCやタブレットのインターネット	スマホのインターネット	中立機関の無料セミナーへの参加	証券会社や金融機関などの担当者からの説明	周囲の投資経験者からの意見	証券会社や金融機関が実施するセミナーへの参加	金融専門誌や書籍	新聞やテレビ、ラジオ	証券会社や金融機関などの冊子やパンフレット	わからない	無回答
全体	2,164	36.8	33.3	31.6	27.0	23.7	20.5	16.8	16.5	11.6	10.5	0.2
預貯金・信託のみ	1,076	33.0	33.6	33.9	23.6	26.7	19.3	13.1	11.4	11.7	15.1	0.2
預貯金・信託以外の金融商品あり	1,004	41.1	33.3	29.5	31.9	20.5	22.0	21.3	22.7	11.9	4.6	0.2
いずれも持っていない	84	34.5	29.8	27.4	13.1	22.6	16.7	9.5	8.3	6.0	22.6	1.2

(17) 証券投資全般のイメージ (問 17)

● 証券投資のイメージは、証券保有層に比べて、預貯金のみ層では、「難しい」、「ギャンブルのようなもの」、「なんとなく怖い」、「お金持ちがやるもの」が高く、「資産を増やす」、「将来・老後の生活資金の蓄えに役立つ」、「勉強になる」、「面白そう」は低い。

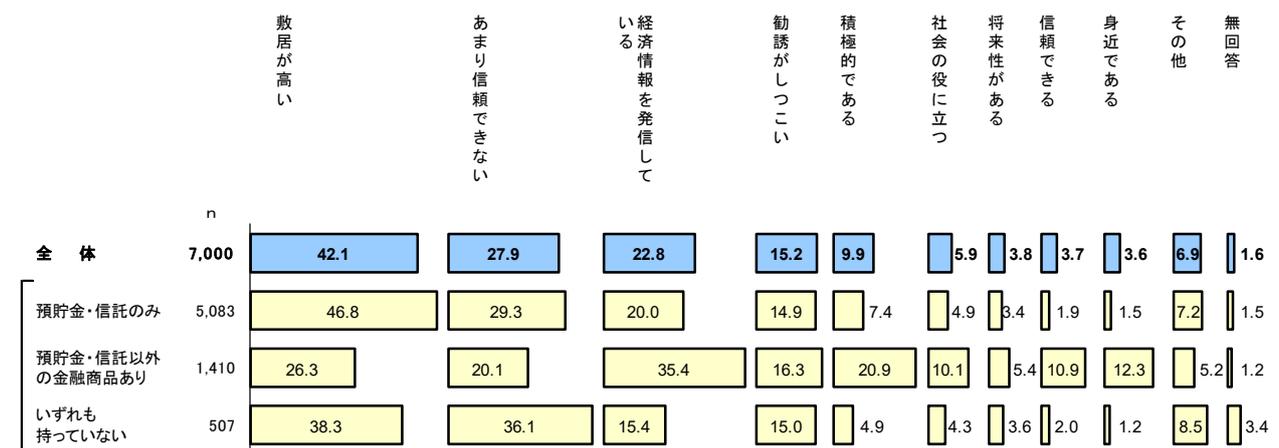
図表 8-17 証券投資全般のイメージ (複数回答) (問 17)



(18) 証券会社のイメージ (問 31)

● 証券会社のイメージは、証券保有層に比べて、預貯金のみ層では、「敷居が高い」、「あまり信頼できない」が高く、「経済情報を発信している」、「積極的である」、「社会の役に立っている」、「信頼できる」、「身近である」は低い。

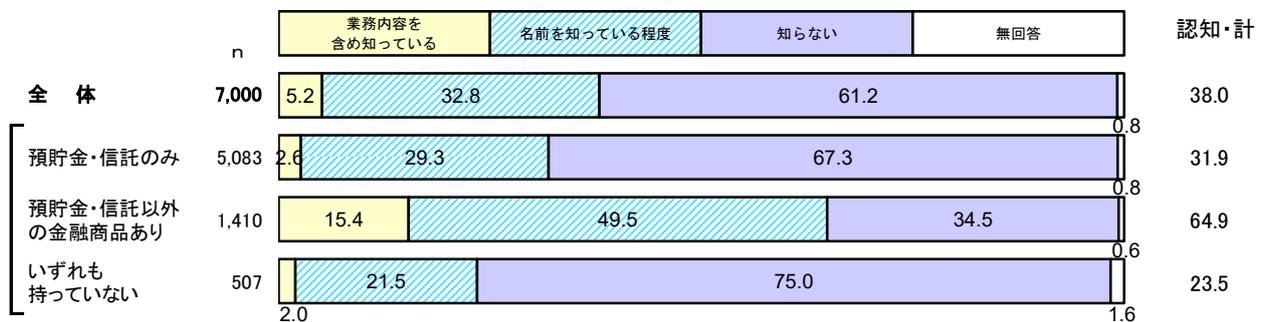
図表 8-18 証券会社のイメージ (複数回答) (問 31)



(19) 「証券取引等監視委員会」の認知度（問 21-A）

● 「証券取引等監視委員会」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」でみると 33 ポイントの差がある。

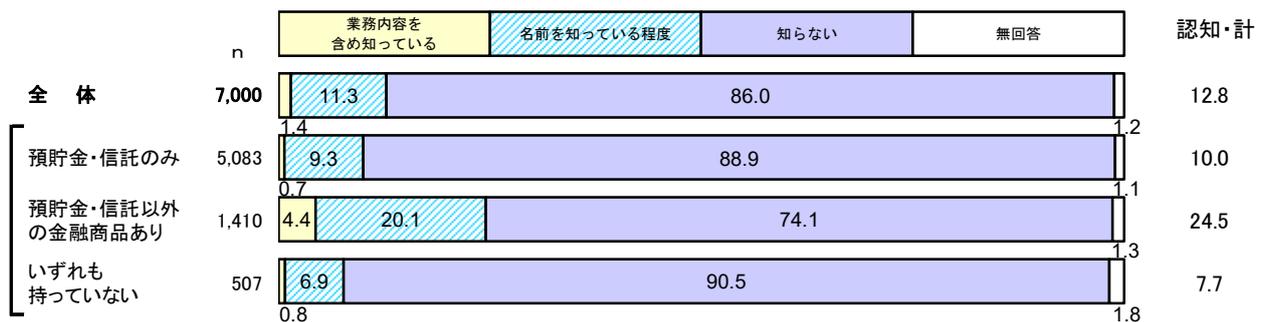
図表 8-19 「証券取引等監視委員会」の認知度（問 21-A）



(20) 「日本投資者保護基金」の認知度（問 21-B）

● 「日本投資者保護基金」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」でみると 15 ポイント程度の差がある。

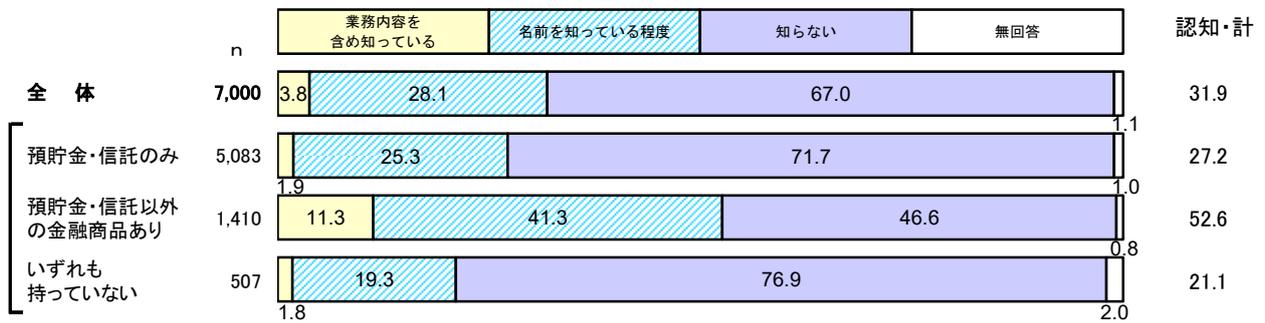
図表 8-20 「日本投資者保護基金」の認知度（問 21-B）



(21) 「日本証券業協会」の認知度（問 21－C）

● 「日本証券業協会」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」でみると 25 ポイント程度の差がある。

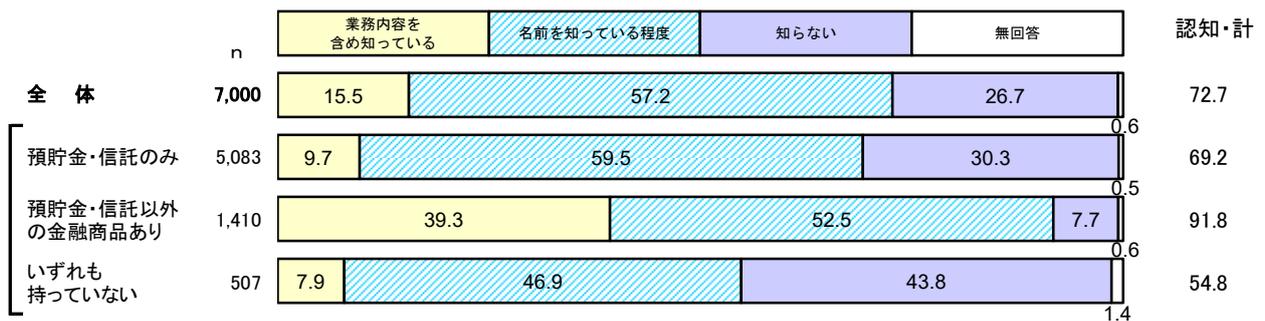
図表 8-21 「日本証券業協会」の認知度（問 21－C）



(22) 「東京証券取引所」の認知度（問 21－D）

● 「東京証券取引所」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」でみると 23 ポイント程度の差がある。

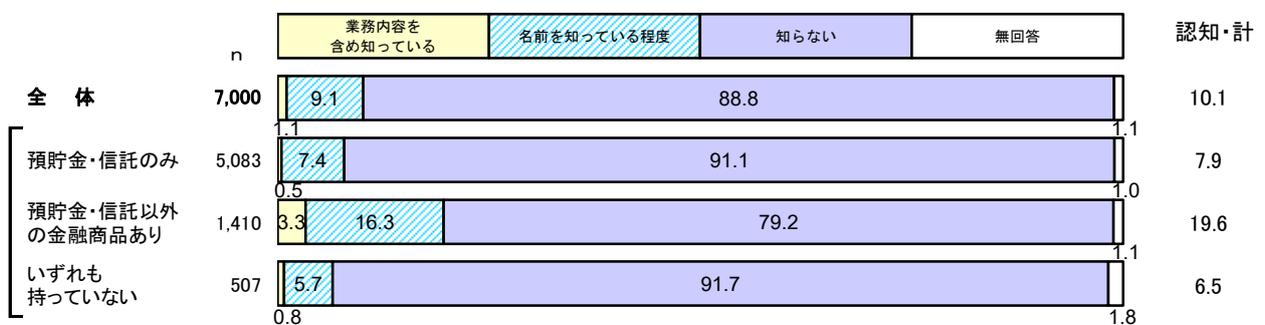
図表 8-22 「東京証券取引所」の認知度（問 21－D）



(23) 「証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）」の認知度（問 21－E）

● 「証券・金融商品あっせん相談センター(FINMAC)」の認知度については、証券保有層に比べて預貯金のみ層で認知度が低く、「認知・計」でみると 12 ポイント程度の差がある。

図表 8-23 「証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）」の認知度（問 21－E）



(24) N I S A 認知 (問 23)

● NISA に関して、預貯金のみ層では「知らない」が約半数 (49.0%) を占め、証券保有層の 10.2% に比べて高い。

図表 8-24 N I S A 認知 (問 23)

